



本資料は 8 月 8 日にスイスで発表されたプレスリリースの日本語抄訳版です。
詳細な情報は下記より英語原文をご覧ください。

<https://bit.ly/2MbVwqr>

アデコ 2019 年度第 2 四半期は戦略を着実に実行

「GrowTogether」プログラムの導入により、EBITA 利益率がさらに向上

[2019 年 8 月 8 日 スイス・チューリッヒ]

2019 年第 2 四半期サマリーとハイライト

- 既存事業売上高¹は前年同期比 2%減、営業日数調整後の既存事業売上高は、市場環境、特にヨーロッパでの成長の減速により前年同期比 3%減。2019 年 6 月の営業日数調整後の既存事業売上高は前年同期比 3%減で、2018 年度第 2 四半期と同等
- 既存事業の粗利率は、プライシングと事業の組み合わせが牽引し、前年比 70bps 増の 19.0%と堅調に成長
- 一時的要因を除く²EBITA³利益率は前年同期比 20bps 増の 4.5%
- 「GrowTogether」プログラムが生産性を高め、顧客価値を向上
- 強固なバランスシートにより、一時的要因を除く EBITDA 有利子負債倍率は 1.2x（前年同期比 0.2 向上）；現金流動性は 84%で DSO が改善

アデコグループ CEO のアラン・ドゥアズは次のようにコメントしています。

「当社の 2019 年第 2 四半期の結果は、当社の戦略がさらに強力に実行されたことを示しています。外部環境の悪化にも関わらず、当社は利益率の拡大と生産性の向上を一貫して推し進めました。高価値ソリューションへの注力、価値ベースのプライシングツールの展開、労働市場の売り手市場化により、4 四半期連続で粗利率が増加しました。

今四半期の既存事業における売上高の成長は、主にヨーロッパ市場の状況が原因で減速しました。これは、前年同期の堅調な成長と、欧州内の多くの市場における自動車および製造産業の継続的な落ち込みを部分的に反映しています。2018 年の夏の終わりに欧州経済が減速したことを考えると、下半期における前年比の達成はそれほど難しくないと考えています。

「GrowTogether」プログラムは、第 2 四半期の FTE 生産性のさらなる改善を支え、2019 年の目標である 7,000 万ユーロの段階的なコスト削減は実現に向けた軌道に乗っています。

事業ブランド間のコラボレーションの増加により、顧客企業に対しより良いソリューションを提供する新たな機会が生まれました。これは第 2 四半期における好例のひとつです。General Assembly が持つスキルアップおよび学び直しのソリューションをリーLee Hecht Harrison に統合することで、顧客企業向けの新たなビジネスが可能になります。さらに、米国では Modis Academy を立ち上げました。これは、高いスキルを持った技術者の不足に対応する革新的なソリューションです。

アデコグループのリーダーシップを強化し、進化するこの仕事の世界で顧客企業とすべての就業者と求職者が成功を収められるよう、「Perform, Transform, Innovate」戦略を推し進めている世界中の従業員に感謝します」

*1：既存事業売上高とは米国会計基準以外の基準で、為替変動、M&A、事業部売却の影響を除く



*2：EBITAは米国会計基準以外の基準で、償却前営業利益、のれん、および無形固定資産の減損を含む

*3：2019年第2四半期のEBITAは、2,400万ユーロの一時的要因を含む；2018年第2四半期のEBITAは、1,100万ユーロの一時的要因を含む

<主な数値>

2019年第2半期の損益計算書情報のサマリー

単位： 100万ユーロ	2019年 第2四半期	2018年 第2四半期	変化率(%)： 報告数値	変化率(%)： 既存事業成長率
売上高	5,923	6,052	-2%	-4% ⁴
売上総利益	1,128	1,107	2%	-1%
EBITA利益 (一時的要因を除く)	265	270	-2%	-3%
EBITA利益	241	260	-7%	-7%
当期純利益	159	170	-6%	
希釈EPS(ユーロ)	0.98	1.02	-4%	
粗利率	19.0%	18.3	70bps	40bps
EBITA利益率 (一時的要因を除く)	4.5%	4.5%	0bps	0bps
EBITA利益率	41.1%	4.3%	(20)bps	(10)bps

2019年第2四半期のキャッシュフローおよび純負債情報のサマリー

単位： 100万ユーロ	2019年 第2四半期	2018年 第2四半期
利払いおよび納税前のフリー・キャッシュフロー ⁵ (FCFBIT)	194	360
フリー・キャッシュフロー (FCF)	115	261
純負債 ⁶	1,381	1,576
未払い日数	52	53
現金流動性 ⁷	84%	78%
EBITDA ⁸ への純負債	1.2x	1.4x

*4：2019年第2四半期の既存事業の売上高は前年同期比4%減、または営業日数調整後で3%減。2019年度上半期の既存事業の売上高は前年

*5：フリー・キャッシュフローは米国会計基準ではない尺度で、営業活動からのキャッシュフローから設備投資を控除したもの

*6：純負債は米国会計基準以外の基準で、短期および長期の借入金から現金、現金同等物、および短期投資を控除したもの

*7：現金流動性は米国会計基準以外の基準で、直近四半期のFCFBITを直近四半期のEBITAで割ったものを四捨五入して計算

*8：EBITDAへの純負債は米国会計基準以外の基準で、期末時点での純負債を一時的要因を除いた直近四半期のEBITAで割って減価償却費を加えたもの

2019年第2四半期の日本の状況

2019年第2四半期の日本での売上高は、6%増または営業日数調整後で12%増の3億6,400万ユーロで、プロフェッショナル・スタッフィング事業と人財紹介事業が好調に成長しました。事業の組み合わせと生産性の向上により、EBITAは2,800万ユーロ、EBITA利益率は前年同期比30bps増の7.7%でした。



THE ADECCO GROUP

【本件に関するお問い合わせ先】

アデコ株式会社 広報部

Tel. 050-2000-7024